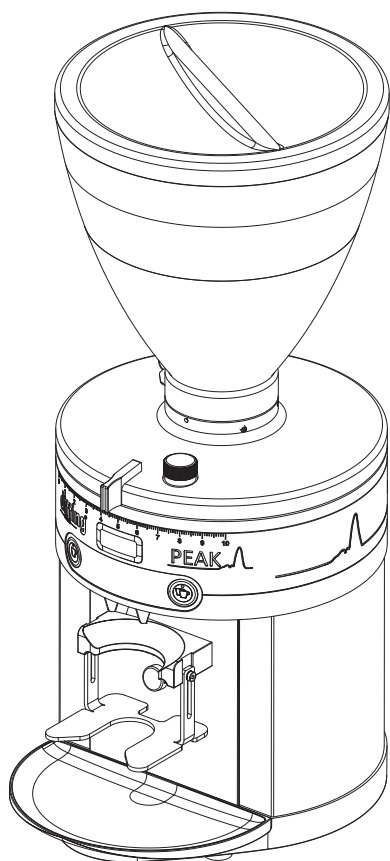


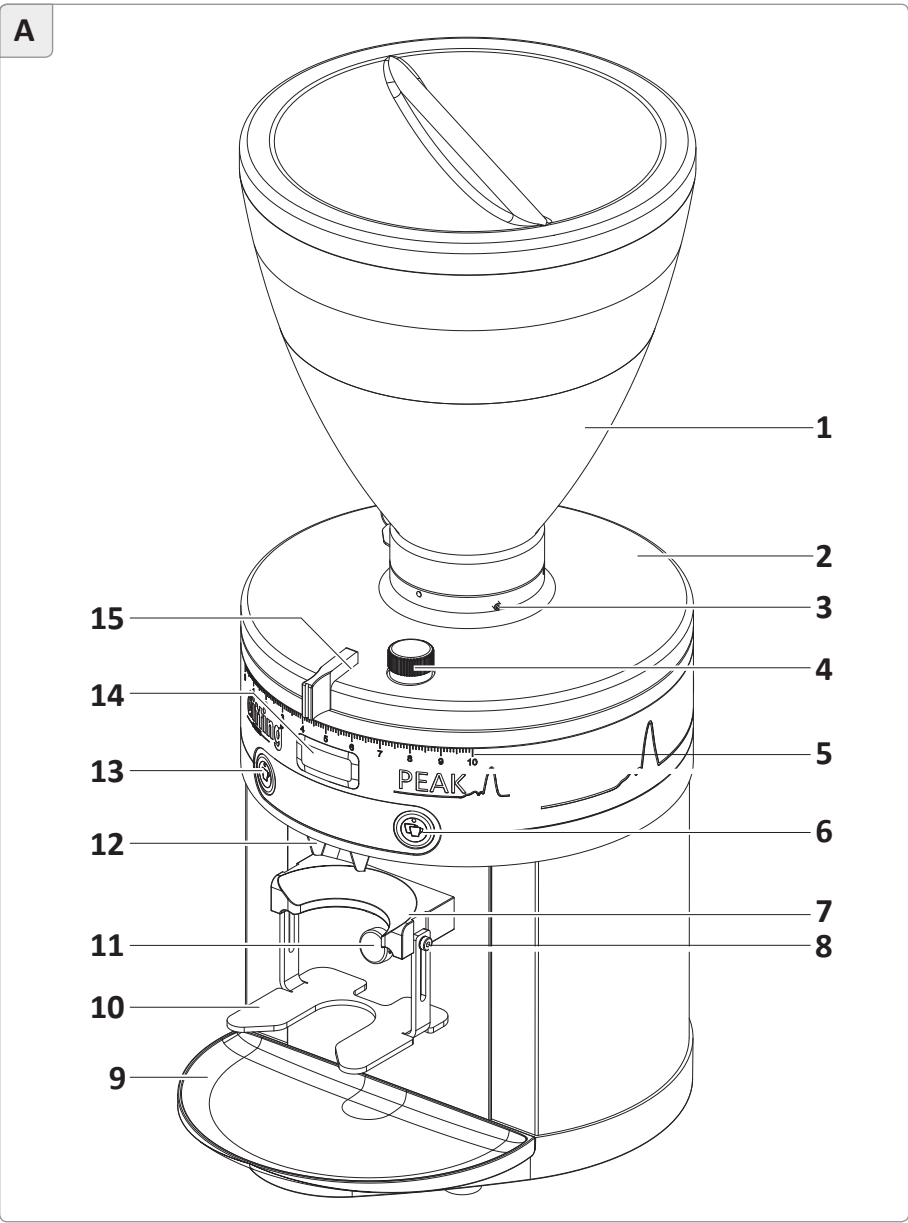
正規取扱説明書



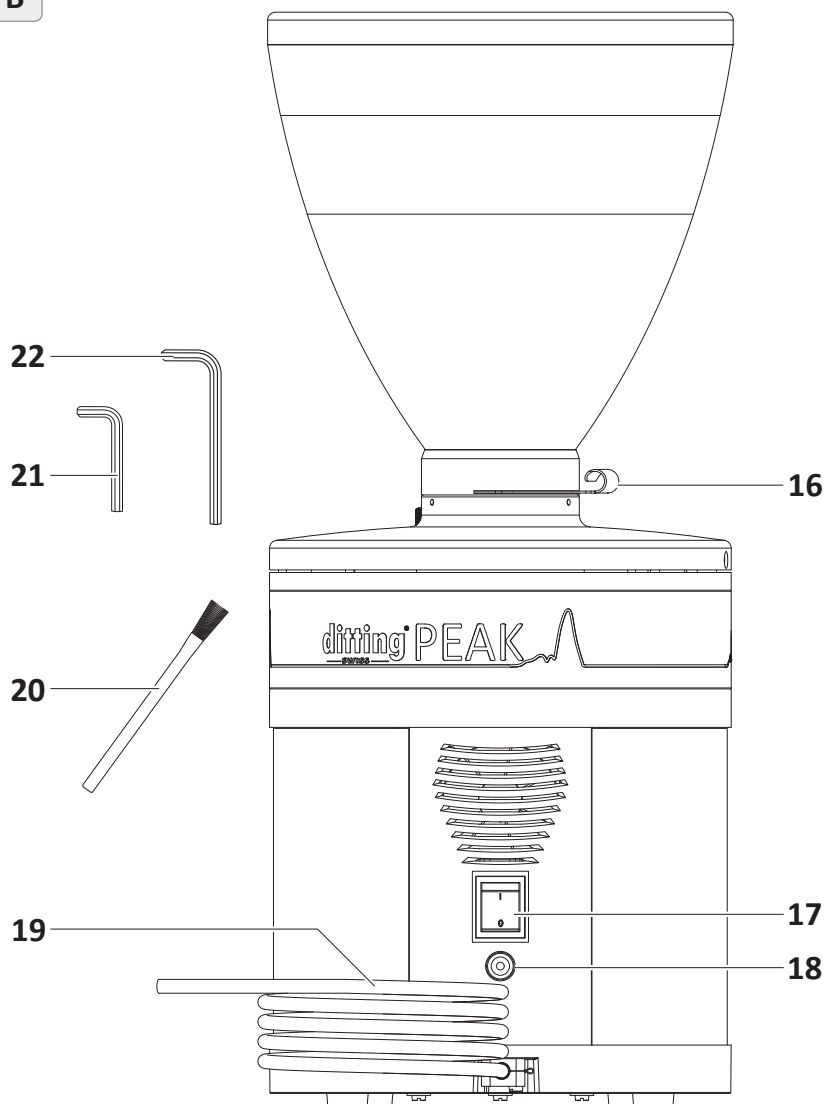
PEAK シングルエスプレッソ グラインダー



概要



B



PEAK シングルエスプレッソグラインダー

目次

概要.....	2	設定.....	18
納品内容.....	5	カウンタを表示する.....	19
一般事項.....	6	ライトを設定する.....	20
取扱説明書の熟読および		温度表示を設定する.....	21
保管について.....	6	アラームを設定する.....	21
使用記号の説明.....	6	換気を設定する.....	22
安全について.....	8	中断機能を設定する.....	22
正しい使い方.....	8	清掃.....	23
安全に関する注意事項.....	8	グラインダー底面を清掃する...	24
使用開始前に.....	11	筐体を清掃する.....	24
グラインダーと納品内容を		豆ホッパーを清掃する.....	24
確認する.....	11	グラインダーを清掃する.....	25
組立ておよび基本設定.....	11	不具合のは正.....	26
運転.....	12	仕様情報.....	30
グラインダーの電源を入れて、		廃棄.....	31
モードを設定する.....	12	梱包を廃棄する.....	31
挽き具合を調整する.....	14	グラインダーを廃棄する.....	31
ディスプレイ/指示記号.....	14	サービス.....	31
豆挽き時間を設定する.....	15	CE 適合宣言.....	32
エスプレッソ豆を挽く.....	16	クレーム報告書.....	33
豆挽きを中断する			
(中断機能).....	17		
エスプレッソ豆の種類を			
変える.....	17		

納品内容

番号 名称

- 1 豆ホッパー (ふた付き)
- 2 グラインダーカバー
- 3 豆ホッパー用固定ねじ
- 4 挽き具合調整用ロックねじ
- 5 挽き具合目盛り
- 6 「ダブルショット」 ボタン
- 7 フィルターホルダー受け
- 8 フィルターホルダーサポート用調整ねじ (左右)、2×
- 9 ドリップトレイ
- 10 フィルターホルダーサポート
- 11 スタートボタン
- 12 調節式グループ
- 13 「シングルショット」 ボタン
- 14 ディスプレイ
- 15 調整用スライダー
- 16 スライド式つまみ
- 17 電源入切スイッチ
- 18 解除ボタン/過電流保護用温度ヒューズ
- 19 電気ケーブル
- 20 ブラシ
- 21 六角レンチ (短、3 mm)
- 22 六角レンチ (長、2 mm)

一般事項

取扱説明書の熟読および保管について



PEAK シングルエスプレッソグラインダーをお使いになる前に、先ず本正規取扱説明書をご一読いただき、安全に関する注意事項について認識してください。そうすることで、PEAK シングルエスプレッソグラインダーを安全に始動させ、危険なくご使用になることができます。正規取扱説明書は欧州規格・法令に基づき作成しております。ご使用になる国の規格・法令にも注意してください。

ご理解しやすいように、PEAK シングルエスプレッソグラインダーは以下「グラインダー」と称します。

ご不明な点がある場合に備えて、本正規取扱説明書はお手元に保管してください。今後所有またはご使用になる方にも、本正規取扱説明書をお渡しください。

使用記号の説明

次の記号およびシグナル表記が本取扱説明書、グラインダーまたは梱包上に使用されています。

警告



本シグナルワードならびに記号は、中レベルの危険を意味しており、防止できなければ死亡または重傷につながる恐れがあります。

注意



本シグナルワードならびに記号は、低レベルの危険を意味しており、防止できなければ軽傷または中程度の怪我につながる恐れがあります。

参考

本シグナルワードは物品破損の可能性について注意しています。



本記号はグラインダーの運転または取扱いに関して有用な情報を伝えています。



CE 適合宣言 (「CE 適合宣言」の章を参照): 本記号が記載されている製品は、欧州経済地域の適用される指令・規則すべてに適合していることを意味します。



本記号が記載されている製品は、屋内でのみの使用が許可されています。



本記号は、機器の清掃や修理を行う前に電源プラグを抜いておく必要があることを意味します。



本記号は感電の危険があることを意味しています。



本記号は、グラインダーが保護等級 I に対応していることを意味します。



本記号は、グラインダーがシングルショットモードにあることを意味します。



本記号は、グラインダーがダブルショットモードにあることを意味します。



本記号は、グラインダーがバリスタモードにあることを意味します。

安全について

正しい使い方

グラインダーは、しっかり焙煎されたエスプレッソ豆を挽くためにのみ使用します。グラインダーをその他の製品や物体を挽くために使用しないでください。グラインダーは業務用に指定されており、研修を受けた人のみメンテナンスすることが許されますが、使用を監督する人がいる場所では他の人が操作することもできます。

それ以外のあらゆる使用については、使用用途にはあたらないとみなされ、物品の破損や人体の怪我につながる恐れがあります。グラインダーの仕様を変更しないでください。安全に関する注意を怠ったために発生する怪我や損傷については、製造業者または取扱業者は一切の責任を負いません。

安全に関する注意事項

警告

感電の恐れがあります！

使用方法を誤った取扱い、間違った電気系統取付、過度の電圧は、感電の恐れがあります。

- コンセントの電圧が機銘板に記載の情報と一致している場合にのみ、グラインダーの電源を差し込むようにしてください。
- 事故発生時には電源からすぐに離せるように、手の届きやすいコンセントにのみつなげるようにしてください。
- 目に見える損傷や電源ケーブルまたはプラグに不具合が認められる場合はグラインダーを使わないでください。
- グラインダーの電源ケーブルが損傷している場合は、危険を避けるため製造業者または専門家による交換を行ってください。
- 16A 低ヒューズに対応する供給電圧でのみ、グラインダーの電源を入れてください。16A 低ヒューズは資格を有する電気技師が取り付けを行ってください。そうでない場合、グラインダーを取り付けた電源接続部は安全が保証されません。

- グラインダーは、使用について研修を受けた人が監督する環境で、取り付け作業を行ってください。
- グラインダーや電源ケーブル、電源プラグは水などの液体の中に浸けないでください。
- 電源プラグは決して濡れた手で触れないようにしてください。
- 電源プラグを引き抜くときは、ケーブルではなくプラグ部分を持って引き抜いてください。
- 電源ケーブル部分を持ち運びの際に持ち手としてつかまないでください。
- グラインダー、電源ケーブル、電源プラグを火や熱から遠ざけてください。
- 電源ケーブルは足などが引っかからないよう配置してください。
- 電源ケーブルを曲げたり、角の鋭利な箇所にひっかけたりしないでください。
- グラインダーは屋内でのみ使用してください。グラインダーを湿度の多い部屋や雨の中で使用しないでください。
- グラインダーはお子さまが触れることのない場所に置いてください。
- お子さまがグラインダーに物を入れないよう、ご注意ください。
- グラインダーを使用しない場合、清掃時、不具合が起きている場合には、グラインダーの電源を切り、電源プラグをコンセントから引き抜いてください。
- 筐体はご自身で開けず、修理は専門の業者に任せるようにしてください。それについては、専門の修理工場にお問い合わせください。ご自身で修理を行った場合、誤った接続・運転を行った場合、損害賠償請求や保証は一切無効になります。修理の際は、元来の機器の仕様に対応する部品のみ使用してください。本グラインダーには、危険防止に不可欠な電気・機械部品があります。

警告

お子さまや身体の不自由な方、知覚の鈍い方、知的能力の弱い方(身体の一部が不自由な方、心身的能力に制限のある年配の方など)、経験や知識が不足している方(青少年の方など)には危険の恐れがあります。

- 本グラインダーは、8歳以上のお子さまや身体の不自由な方、知覚の鈍い方、知的能力の弱い方、経験や知識が不足している方でも、監督がついている場合、またはグラインダーの安全な使用について研修を受けており、発生する危険について理解している場合はご使用いただけます。お子さまをグラインダーで遊ばないでください。清掃やメンテナンスを、保護者の目が行き届かない場所でお子さまにさせないでください。
- グラインダーの運転中は、目を離さないでください。
- お子さまに梱包用フィルムで遊ばせないでください。お子さまがこうした物で遊ぶと身体が絡まり、窒息の恐れがあります。
- お子さまに小さい部品で遊ばせないでください。飲み込むと、生命に危険を及ぼす場合があります。

注意

転倒、怪我の恐れがあります！

グラインダーの取り扱いを誤ると怪我を負う恐れがあります。

- 電気ケーブルは、つまずいてグラインダーが落ちないように配置してください。
- グラインダーは平らで安定した場所に設置し、倒れないようにしてください。

使用開始前に

グラインダーと納品内容を確認する

参考

破損の恐れがあります。

梱包を鋭利な刃物等で不用意に開けると、グラインダーが破損する恐れがあります。

- 梱包を開ける際はよく気を付けてください。

1. グラインダーを梱包から取り出してください。
2. 納品内容がすべて揃っているか確認してください (図 A および図 B を参照)。
3. グラインダーまたは各部品に破損があるかを確認してください。破損がみられる場合、グラインダーを使用しないでください。「サービス」の章に記載されている担当取扱業者の連絡先に連絡してください。

組立ておよび基本設定

グラインダーを設置し、豆ホッパーを取り付ける

1. グラインダーを平らで安定している、振動のない場所に設置してください。
2. 調節式グループ (12) が停まるまで前方に引いてください。
3. 電源プラグを適切に取り付けられたコンセントに差し込んでください。
4. グラインダーカバー (2) の穴にゴム輪があるか確認してください。
5. 豆ホッパー (1) をグラインダーカバーの穴の上に取り付けます。豆ホッパー取り付けの際、グラインダーカバーの豆ホッパー用固定ネジ (3) の後ろに円形の開口部がくるよう注意してください。
6. 豆ホッパーを軽く下に押しながら、固定されるまで時計回りに回してください。
7. 六角レンチ (長、2 mm) (22) を使って豆ホッパー用固定ねじをしつかりと締めてください。

フィルターホルダーサポートを取り付ける

エスプレッソグラインダーのフィルターホルダーサイズに合うフィルターホルダーサポート **(10)** を取り付けます。

1. この時、グラインダーの電源が入っておらず、電気が通っていないことを確認してください。
2. 六角レンチ (短、3 mm) **(21)** を使用して、フィルターホルダーサポート用ねじ (左右) **(8)** を反時計回りに回して緩めてください。
フィルターホルダーサポートが停まるまで下に降ろします。
3. フィルターホルダーをフィルターホルダー受け **(7)** に取り付けてください。
4. フィルターホルダーサポートを上げる限り上にずらして、フィルターホルダーがサポートと受けの間にくるよう調節します。



納品されたフィルターホルダーサポートがうまく調節できない場合、「サービス」の章に記載されている担当取扱業者の連絡先に連絡してください。

5. フィルターホルダーサポートをその位置で保ったまま、六角レンチ (短、3 mm) を使用して、フィルターホルダーサポート用ねじ (左右) で時計回りに回して締めてください。
6. フィルターホルダーを後ろに押すか前に引くかして、挽いたエスプレッソ豆がフィルターホルダーの中央に落ちるようにグループ **(12)** を調節してください。



グループは豆挽き具合調整後とエスプレッソ豆の種類を変更した後に、毎回新たに取り付けてください。

運転

グラインダーの電源を入れて、モードを設定する

- グラインダーの背面にある電源入切スイッチ **(17)** でグラインダーの電源を入れてください。



工場では自動換気機能に設定されています。換気はグラインダーの温度が 30 °C を超えると自動的に入り、28 °C を下回ると自動的に切れます。

グラインダーは、ディスプレイ **(14)** に設定モードが表示されたら準備完了です。

- シングルショットモードを選択するには、「シングルショット」のボタン **(13)** を押してください。
- ダブルショットモードを選択するには、「ダブルショット」のボタン **(6)** を押してください。
- バリスタモードを選択するには、両方のボタン **(13)** と **(6)** を同時に押してください。

参考

オーバーヒートする危険があります！

最大許容運転サイクルを超えると、グラインダーがオーバーヒートする可能性があります。

- ダブルエスプレッソ 3 回/分 (5 秒抽出 / 15 秒止め) の最大運転サイクルを超えないようにしてください。
- 最大許容運転サイクルに達した場合、推奨される休止時間を取ってください (「仕様情報」の章を参照)。



- グラインダーには解除ボタン/過電流保護用温度ヒューズ **(18)** があり、過電流が起きた時にグラインダーの電気回路を遮断します。グラインダーの運転を再開するには、電源スイッチを切り、解除ボタン/過電流保護用温度ヒューズ **(18)** を押してください。次に、電源入切スイッチ **(17)** をスイッチ位置 I に設定します。「不具合の是正」の章を参照してください。
- さらに、グラインダーにはモータープロテクターがあり、モーターが過度に熱くなった場合はグラインダーの電源が切れる仕様になっています。モーターが冷え次第、グラインダーの運転を再開できるようになります。「不具合の是正」の章を参照してください。

参考

破損の恐れがあります。

使用者にヒューズに触れることはありません。ヒューズが繰り返し作動する場合は、指定のサービス担当者にご相談ください。モーターコイルが破損している可能性があります。

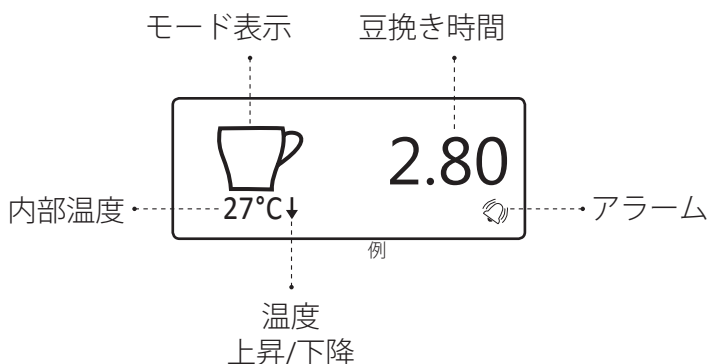
挽き具合を調整する

1. 挽き具合調整用ロックねじ **(4)** を反時計回りに回して緩めてください。
2. 調整用スライダー **(15)** を左右に操作して、挽き具合を調整してください。



- 挽き具合目盛り **(5)** が希望する挽き具合を示します。挽き具合は「0」に近いほど細かく、「10」に近いほど粗くなります。
 - 細かい挽き具合に下げるのは、グラインダーが運転状態のときにしてください。
3. 挽き具合調整用ロックねじを時計回りにしっかり回して挽き具合の設定を固定してください。

ディスプレイ/指示記号



記号	意味	記号	意味
←	指示表示 (左)	+	入力値増
→	指示表示 (右)	-	入力値減
↶	サブメニューを離れる	t	時間カウンタに変更
✓	サブメニューを開く / 入力を確定する	n	ショットカウンタに変更
X	リセット / 保存せずにメニューを離れる / 機能を無効にする		



例

- 「シングルショット」のボタン **(13)** を押して、ディスプレイ **(14)** の左の記号を操作します。
- 「ダブルショット」のボタン **(6)** を押して、ディスプレイの右の記号を操作します。
- スタートボタン **(11)** を押して、ディスプレイ中央の記号を操作します。



約 1 分後に、グラインダーがスタンバイモードに切り替わります。任意のボタンを押すと、スタンバイモードを離れます。

豆挽き時間を設定する



- 工場設定では、シングルショットモードで豆挽きにかかる時間は 2.8 秒 (約 10 g) になっています。
- 工場設定では、ダブルショットモードで豆挽きにかかる時間は、5.2 秒 (約 18 g) になっています。

シングルショットモードの豆挽き時間を設定する

1. 「シングルショット」のボタン **(13)** を 2 秒間押し続けてください。すると、今まで設定されていた豆挽きの時間が点滅します。
2. **(13)** または **(6)** のボタンを押して、希望する豆挽きの時間を設定してください。
3. スタートボタン **(11)** を押して、設定した豆挽きの時間を保存します。



10 秒間いずれのボタンも押さなければ、変更した設定は保存されずに表示が前の設定モードに自動的に戻ります。

ダブルショットモードの豆挽き時間を設定する

1. 「ダブルショット」のボタン **(6)** を 2 秒間押し続けてください。
すると、設定されていた豆挽きの時間が点滅します。
2. **(13)** または **(6)** のボタンを押して、希望する豆挽きの時間を設定してください。
3. スタートボタン **(11)** を押して、設定した豆挽きの時間を保存します。



10 秒間いずれのボタンも押さなければ、変更した設定は保存されずに表示が前の設定モードに自動的に戻ります。

エスプレッソ豆を挽く

1. 豆ホッパー **(1)** のふたを開けてください。
2. 十分に焙煎したエスプレッソ豆を豆ホッパーの上部から投入してください。



- 最大投入量は、豆ホッパーの縁から約 1 cm 下です。
- 投入量が安定するよう、最小投入量が約 2 cm を下回らないようにしてください。

3. 豆ホッパーのふたを閉じます。
4. スライド式つまみ **(16)** を奥に押して、開けてください。
5. 対応するボタン **(13)** または **(6)** を押して、希望するモードを選択してください。
6. フィルターホルダー受け **(7)** とフィルターホルダーサポート **(10)** の間でフィルターホルダーをスライドしてください。
豆挽きが自動的に始まります。



バリスタモードを選択した場合、豆挽きの時間を手動で指定してください。シングルショットモードとダブルショットモードでは、豆挽きは設定した時間が過ぎると自動的に終了します。

豆挽きを中断する (中断機能)



中断機能を無効にすることができます。「中断機能を設定する」を参照してください。

中断機能は、フィルターホルダーをフィルターホルダー受け **(7)** から引くと自動的に豆挽きを中断し、フィルターホルダーをフィルターホルダー受けに戻すと豆挽きを続けます。

1. 豆挽きを中断して豆挽きの時間を停めるには、豆挽き中にフィルターホルダーをフィルターホルダー受けから引いてください。
LED と選択した設定の記号が点滅します。
2. フィルターホルダー受けとフィルターホルダーサポート **(10)** の間で、フィルターホルダーを再びスライドさせてください。
3. 中断された豆挽き工程が自動的に再開し、豆挽きの時間が終了するまで続けられます。

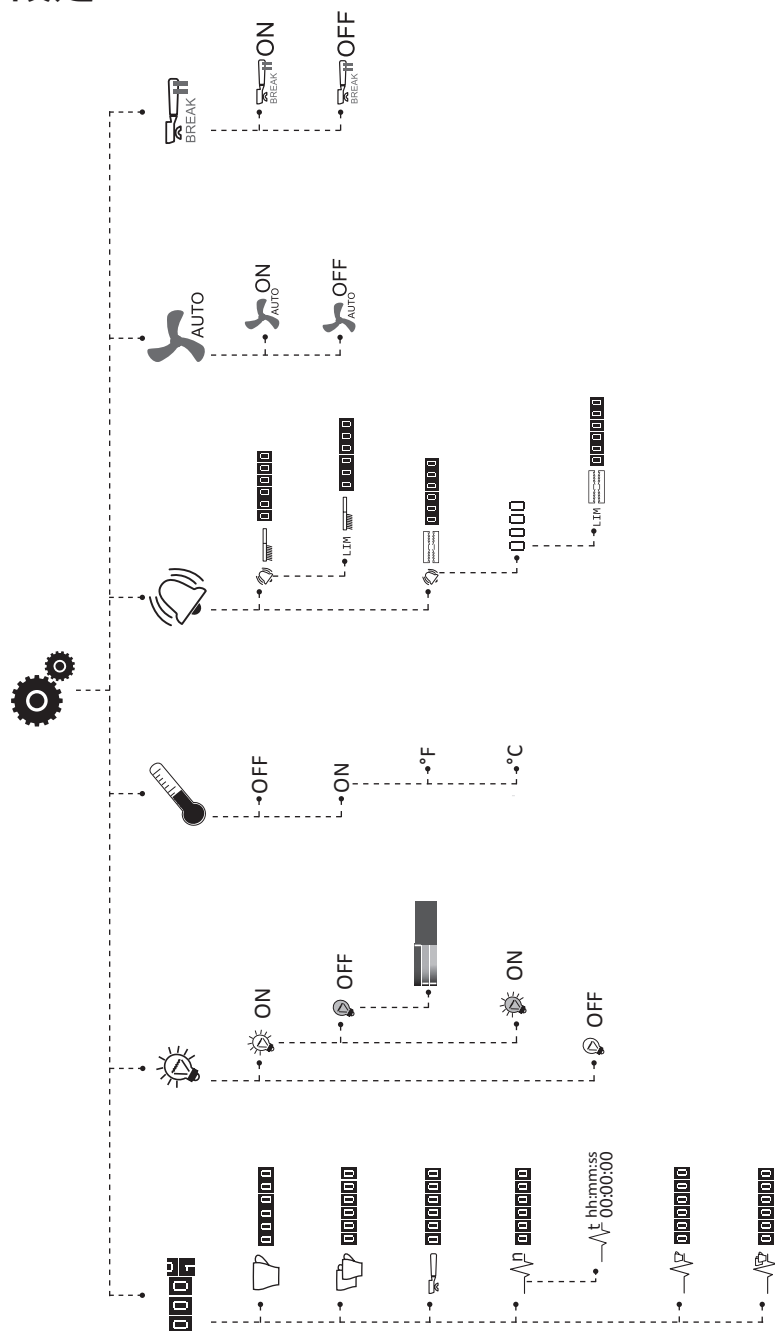


豆挽き工程を続けたくない場合は、**(13)** または **(6)** ボタンのいずれかを押してください。表示が選択されたモードに直接切り替わり、その前に保留となっていた豆挽きの時間が消えます。

エスプレッソ豆の種類を変える

1. スライド式つまみ **(16)** を手前に押して、閉じてください。
2. グライNDER が空になるまで、残っているエスプレッソ豆をグラインダーで挽いてください。
豆ホッパー **(1)** にエスプレッソ豆が残っていなければ、別のエスプレッソ豆を投入することができます。次に、手順 5 以降の記載通りに進んでください。
3. 残ったエスプレッソ豆は別のホッパーに入れてください。
4. 新しいエスプレッソ豆を豆ホッパーに投入してください。
5. スライド式つまみを奥に押して、開けてください。
6. 古いエスプレッソ豆の残りを取り除いて新規に豆挽きし、豆の量が安定するよう、2〜3 ショット分豆を挽いてください。

設定



- 記号  がディスプレイに表示されるまで、**(13)** と **(6)** のボタンを同時に 3 秒間押してください。まず、メインメニューが表示されます。ここではカウンタ、ライト、温度、アラーム、換気、中断機能の設定を行うことができます。
- メインメニューを離れるには、ディスプレイに EXIT が表示されるまで、**(13)** と **(6)** のボタンを再び同時に押してください。

カウンタを表示する

シングルショットカウンタ:

このサブメニューでは、シングルショットを挽いた回数が表示されます。

- カウントをリセットするには、表示が 3 回点減してカウントが 0 になるまで、スタートボタン **(11)** を押し続けます。

ダブルショットカウンタ:

このサブメニューでは、ダブルショットを挽いた回数が表示されます。

- カウントをリセットするには、表示が 3 回点減してカウントが 0 になるまで、スタートボタン **(11)** を押し続けます。

バリスタショットカウンタ:

このサブメニューでは、バリスタショットを挽いた回数が表示されます。

- カウントをリセットするには、表示が 3 回点減してカウントが 0 になるまで、スタートボタン **(11)** を押し続けます。

総ショットカウンタ:

このサブメニューでは、すべてのショットを挽いた回数が表示されます。シングルショットは挽く毎に総ショットカウンタに 1 回カウントされ、ダブルショットは挽く毎に 2 回カウントされます。このカウンタはリセットできません。

hh:mm:ss **運転時間カウンタ:**

このサブメニューでは、グライnderの総運転時間が表示されます。
このカウンタはリセットできません。

000000 **総シングルショットカウンタ**

このサブメニューでは、すべてのシングルショットを挽いた回数が表示されます。このカウンタはリセットできません。

000000 **総ダブルショットカウンタ**

このサブメニューでは、すべてのダブルショットを挽いた回数が表示されます。このカウンタはリセットできません。

ライトを設定する

ON **ライト点灯**

このサブメニューでは、グループ **(12)** のライトを点けることができます。色味を自動調節するか、ライトの色味を一定に保つか選択できます。

OFF **色味の自動調節無効**

このサブメニューでは、色味の自動調節を無効にすることができます。色味の自動調節を無効にしている場合は、次のサブメニューでライトの色味を一定に保つ設定を行うことができます。

ライトの色味を設定する

このサブメニューでは、スタートボタン **(11)** を押すことで、グループのライトに設定した一定の色味を調節することができます。

ON **色味の自動調節有効**

このサブメニューでは、色味の自動調節に有効にすることができます。グループのライトはこの設定で自動的に色味を調節するように切り替わります。

OFF **ライト消灯**

このサブメニューでは、グループのライトを消すことができます。



温度表示を設定する

OFF 温度表示を消す

このサブメニューでは、グラインダー本体内部の温度の表示を消すことができます。

ON 温度表示を出す

このサブメニューでは、グラインダー本体内部の温度の表示を出すことができます。

°F 華氏 (°F) 単位設定

このサブメニューでは、温度表示の単位に華氏 (°F) を選択できます。

°C 摂氏 (°C) 単位設定

このサブメニューでは、温度表示の単位に摂氏 (°C) を選択できます。



アラームを設定する



000000 清掃アラーム

このメニューでは、次回の清掃を知らせるアラームが鳴るまでの残りショット回数呼び出すことができます。

- 清掃後に清掃アラームのカウントをリセットするには、このメニューから離れて、 RESET がディスプレイに表示されるまで **(13)** と **(6)** のボタンを両方同時に 10 秒間押してください。ディスプレイのアラーム表示がリセットされ消えます。



LIM 000000 清掃までのショット回数制限

このサブメニューでは、清掃アラームが鳴るまでのショット回数制限を決めることができます。次回清掃までの標準設定は 1,000 ショットです。



000000 グラインダーディスク交換アラーム

このサブメニューでは、次回にグラインダーディスクを交換するまでの残りショット回数呼び出すことができます。

次回グラインダーディスク交換までの標準設定は 350,000 ショットです。この制限は個別に設定することはできません。

- グラインダーディスク交換までの制限に達した場合は、「サービス」の章に記載されている担当取扱業者の連絡先に連絡してください。

換気を設定する

ON 換気自動運転を入れる

このサブメニューでは、換気の自動運転設定を入れることができます。換気は、グラインダーの内部温度が 30 °C を超えると自動的に入り、28 °C を下回ると自動的に切れます。

OFF 換気自動運転を切る

このサブメニューでは、換気の自動運転設定を切ることができます。グラインダーの内部温度に関係なく、換気されます。

中断機能を設定する

OFF 中断機能を無効にする

このサブメニューでは、中断機能を無効にできます。豆挽き中にフィルターホルダーをフィルターホルダーサポートから引いても、豆挽きは停まりません。

ON 中断機能を有効にする

このサブメニューでは、中断機能を有効にできます。豆挽き中にフィルターホルダーをフィルターホルダーサポートから引くと、豆挽きは自動的に停まります。

清掃

注意

怪我の恐れがあります！

グラインダーの設置場所を替える際にグラインダーが倒れ、怪我を引き起こす恐れがあります。

- グラインダーは常に、転倒の危険のない安定した場所に配置してください。
- グラインダーが重すぎる場合、必要に応じて他の人に手伝ってもらってください。

参考

ショートの恐れがあります！

グラインダーに水がかかると、ショートが起きる恐れがあります。

- グラインダーに水や液体をかけないようにしてください。
- この他にも、水や液体がグラインダー筐体の内部に入らないよう注意してください。

参考

破損の恐れがあります。

取り扱いを誤ると、グラインダーを破損させる恐れがあります。

- 強力な洗浄剤や、ナイフや金属たわしといった鋭利な刃物や金属製清掃用具を使用しないでください。このような用具等を使用すると、グラインダー表面に傷をつける可能性があります。
- ドリフトトレイ、豆ホッパー、豆ホッパーのふたは、食器洗浄機にかけないでください。これらの部品は食器洗浄機に適しておらず、色落ちする可能性があります。
- グラインダーは、豆ホッパー部分を持って持ち上げず、必ず両手で筐体を持って持ち上げてください。

グラインダー底面を清掃する

1. グラインダーの電源を切り、電源プラグをコンセントから引き抜いてください。
2. 筐体を両手で持ってグラインダーを持ち上げ、清潔な面に置きます。
3. 湿ったタオルでグラインダーの底面と背面を清掃し、表面を乾かしてください。
表面は乾き、油分がないようにしてください。
4. グラインダーを清掃した底面に水平に立てて置いてください。

筐体を清掃する

1. グラインダーの電源を切り、電源プラグをコンセントから引き抜いてください。
2. 筐体と、必要に応じてドリフトレー **(9)** を湿ったタオルで週に 1 度は拭き掃除してください。
3. ブラシ **(20)** を使って、グループ **(12)** を丁寧に清掃してください。

豆ホッパーを清掃する



豆ホッパーはコーヒーの残油分を毎日取り除いてください。
コーヒーの油分が滞留すると風味に悪影響を与えます。

1. スライド式つまみ **(16)** を手前に押して、閉じてください。
2. エスプレッソ豆を別の容器に移してください。
3. 湿ったタオルで豆ホッパーの内側と外側を清掃し、乾かしてください。
4. エスプレッソ豆を豆ホッパーに戻し、スライド式つまみを奥に押して、開けてください。

グラインダーを清掃する



- 製造業者はグラインダー清掃にグラインダー洗浄剤 GRINDZ™ の使用を推奨しています。GRINDZ™ に関する詳細は、www.dittingswiss.ch をご覧ください。

- グラインダーの清掃は、2～5日毎に行います。

1. スライド式つまみ **(16)** を手前に押して閉じ、グラインダーが空になるまで、残っているエスプレッソ豆をグラインダーで挽いてください。
2. 豆ホッパー **(1)** にエスプレッソ豆が残っていなければ、グラインダー洗浄剤を入れることができます。製造業者が指定するグラインダー洗浄剤の使用量に注意してください。次に、手順 4 以降の記載通りに進んでください。
3. 残ったエスプレッソ豆は別のホッパーに入れてください。
4. 挽き具合を「10」に設定してください（「挽き具合を調整する」の章を参照）。
5. グラインダー洗浄剤を豆ホッパーに入れてください。製造業者が指定するグラインダー洗浄剤の使用量に注意してください。
6. グラインダー洗浄剤をこぼさないよう、グループ **(12)** の下にボウルを置いてください。
7. バリスタモードを選択してください（「グラインダーの電源を入れて、モードを設定する」の章を参照）。
8. グラインダー洗浄剤が完全に挽かれるまで、スタートボタン **(11)** を押してください。
9. 乾いたリントフリーのタオルで豆ホッパーを拭いてください。
10. エスプレッソ豆を豆ホッパーに再び投入してください。
11. スライド式つまみを奥に押して、開けてください。
12. 残っている洗浄剤小片を取り除くため、先のグラインダー洗浄剤と同様の分量だけエスプレッソ豆を挽いてください。豆挽き工程中に、豆挽き具合を希望する設定に合わせてください。
13. グラインダー洗浄剤とこの時に挽いたエスプレッソ豆は事業系一般廃棄物/家庭ごみで廃棄してください。
14. 「アラームを設定する」の章を参照し、清掃アラームをリセットしてください。

不具合の是正

不具合	原因	解決方法
グラインダーが音を立てるが、豆を挽かない。	グループが詰まっている。	→ 豆挽き具合の設定を「10」に合わせて、豆挽き工程を行ってください。グラインダーが豆を挽けるようになります。次に、運転中に豆挽き具合設定を希望する豆挽き具合に合わせます。
	調節式グループが下がりすぎてコーヒーの流れを止めている。	→ グループが停まるまで前方に引いてください。豆挽き具合の設定を「10」に合わせて、豆挽き工程を行ってください。グラインダーが豆を挽けるようになります。次に、運転中に豆挽き具合設定を希望する豆挽き具合に合わせます。
	フィルターホルダー内の分量が多すぎて、グラインダー内で挽いたコーヒーが溜まっている。	→ グラインダーの電源を切って、ブラシでグループの外側から清掃してください。豆挽き具合の設定を「10」に合わせて、豆挽き工程を行ってください。グラインダーが豆を挽けるようになります。次に、運転中に豆挽き具合設定を希望する豆挽き具合に合わせます。

不具合	原因	解決方法
	• 挽き具合が細かすぎる。 • 異物がグラインダー内にある。	→ 豆挽き具合の設定を「10」に合わせて、豆挽き工程を行ってください。グラインダーが豆を挽けるようになります。次に、運転中に豆挽き具合設定を希望する豆挽き具合に合わせます。問題が引き続き生じる場合は、「サービス」の章に記載されている担当取扱業者の連絡先に連絡してください。 → 「清掃」の章に記載されている通りにグラインダーを清掃し、異物を取り除いてください。異物を取り除けない場合、「サービス」の章に記載されている担当取扱業者の連絡先に連絡してください。
グラインダーが豆を挽かず、ディスプレイが点灯し、豆挽きモードが事前に選択されている。	• 豆挽き時間が0に設定されている。 • 最大許容運転サイクルを超えている。	→ 豆挽き時間を新しく設定しなおしてください。 → 必要に応じて換気自動運転を入れて、28℃で換気が自動的に切れるまで待ってください。
グラインダーが動かない。ディスプレイが点灯しない。	• 電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	→ 電源プラグを適切に取り付けられたコンセントに差し込んでください。

不具合	原因	解決方法
	- 過電流保護ヒューズが切れた。 - 電気ヒューズが切れた。	→ ヒューズの解除ボタンが抜けているか確認してください。必要に応じて再度押してください。ヒューズが繰り返し切れる場合は、「サービス」の章に記載されている担当取扱業者の連絡先に連絡してください。 → 電気ヒューズを確認してください。電気ヒューズを初期状態に戻す、あるいは交換してください。このヒューズに他の負荷が接続されているか確認し、必要に応じてそのプラグを抜いてください。ヒューズが繰り返し外れる場合は、「サービス」の章に記載されている担当取扱業者の連絡先に連絡してください。
グラインダーの抽出精度が落ちている。	グループが詰まっている。グラインダーの内部に、挽いたコーヒーが滞留し過ぎている。	→ グラインダーの電源を切って、ブラシでグループの外側から清掃してください。豆挽き具合の設定を「10」に合わせて、豆挽き工程を行ってください。グラインダーが豆を挽けるようになります。次に、運転中に豆挽き具合設定を希望する豆挽き具合に合わせます。

不具合	原因	解決方法
	グライNDERグループが破損している	→ 「サービス」の章に記載されている担当取扱業者の連絡先に連絡してください。
	フラッパーが壊れている。	→ 「サービス」の章に記載されている担当取扱業者の連絡先に連絡してください。
グライNDERが十分に細かく豆を挽かない。	グライNDERディスクがゆがんでいて、再調整が必要。	→ 「サービス」の章に記載されている担当取扱業者の連絡先に連絡してください。
グライNDERがフィルターホルダーの中央に抽出しない。	グループが正しくフィルターホルダーに調整されていない。	→ 豆挽きの抽出口がフィルターホルダーの中央にくるよう、グループを正しい位置に直してください。
ディスプレイに「サービス」と表示される。	ディスプレイに必要な情報がすべて含まれていない。	→ 「サービス」の章に記載されている担当取扱業者の連絡先に連絡してください。

仕様情報

モデル:	PEAK
電圧/周波数:	100–120 V / 50 Hz 100–120 V / 60 Hz 200–240 V / 50 Hz 200–240 V / 60 Hz
保護規格:	IPX1
保護等級:	I ⊕
ヒューズ:	16 A 低
待機時回転数:	
50 Hz:	900 rpm
60 Hz:	1 100 rpm
ノイズ値:	
待機時:	55 dB
豆挽き時:	75 dB
豆挽き性能:	2.0–3.5 g/s*
最大許容運転サイクル:	ダブルエスプレッソ3回/分 (5 秒抽出 / 15 秒止め)
推奨休止時間:	15 秒
最大豆挽き時間:	20 分
最大容量/日:	30 kg
寸法 (幅 × 高さ × 奥行)、mm	240 × 550 × 320
重量 (正味)、kg:	14
最大投入量、kg:	1.5

*エスプレッソ豆および選択挽き具合によります。

廃棄

梱包を廃棄する



梱包はきちんと分別して廃棄してください。紙・段ボール類は古紙、フィルムはリサイクルです。

グラインダーを廃棄する



古くなったグラインダーを事業系一般廃棄物/家庭ごみに捨ててはいけません。

グラインダーを使わなくなった場合、お住まいの地方自治体の廃品回収に出すなどの方法で**事業系一般廃棄物/家庭ごみとは分別して廃棄する法的責任を消費者として負っています**。これにより、グラインダーは専門的に廃棄またはリサイクルされ、環境に悪影響を及ぼさないようになっています。そのため、電気機器はここに記載する記号が付されています。

サービス

サービスが必要な際は、取扱業者にご相談ください。当社の取扱業者情報一覧は www.dittingswiss.ch からダウンロードしていただけます。グラインダーのバージョンは、電源を入れる则表示されます。取扱業者にサービスご相談の際、このバージョンをお伝えください。

取扱業者印

CE 適合宣言

EC DECLARATION OF CONFORMITY



The manufacturer:

Ditting Maschinen AG
Länggenstrasse 34 | CH-8184 Bachenbülach | Switzerland
Tel: +41 44 864 18 00
Fax: +41 44 864 18 01

Hereby declares that the below mentioned product:

Product: Device for food processing
Machine model: Coffee grinder
Type of machine: PEAK

Following directives, regulations and standards have been applied:

2006/42/EG	The provisions of the Machinery Directive
2014/35/EU	The Low Voltage Directive
2014/30/EU	The EU Electromagnetic Compatibility Directive (EMC)
2011/65/EU	The RoHS Directive on the restriction of use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment
(EG) No.1907/2006	The EU chemicals regulation (REACH – Regulation)
2012/19/EU	WEEE Regulation - Waste of Electrical and Electronic Equipment
EN 60335-1:12+A11:14	Safety of electrical appliances for household, general requirements
EN 60335-2-64:00+A1:02	Safety of electrical appliances for household, particular requirements for commercial use
EN 62233:08	Measurement methods for electromagnetic fields
EN 55014-1:12	Electromagnetic compatibility, Emission (EMC)
EN 55014-2:16	Electromagnetic compatibility, Immunity (EMC)
EN 61000-3-2:15	Electromagnetic compatibility, Emission (EMC)
EN 61000-3-3:14	Electromagnetic compatibility, Emission (EMC)

Supplements in Europe:

Regulation 1935/2004	Requirements for materials and the objects with food comes into contact
Regulation 2011/10/EU	Requirements on plastic materials and articles intended to come into contact with food

Documentation agent:
Address of the proxy documentation:
Done in Bachenbülach on:
Function of subscriber:
Name of signatory:

Metin Makinaci
See the address of the manufacturer
02/16/2017
General Manager
Philipp Baumberger

Signature

COMPANY OF THE
HEMRO
Global Coffee Grinding Solutions

Ditting Maschinen AG
Managing Director: Philipp Baumberger, Jochen Christoph
CH: VAT No.: CHE-102.510.347 MWST
DE: VAT No.: DE293707477

クレーム報告書

REKLAMATIONSBERICHT / CLAIM REPORT REPARATURAUFTRAG / SERVICE ORDER

ditting®
— SWISS —

Händler Dealer			
Kunde Customer			
Straße Street		Maschinentyp Machine type	
PLZ Zip code		Serien Nr. Serial no.	
Stadt City		Betriebsstunden Operating hours	
Land Country			
E-Mail Email		Warenerhalt Datum Date of receipt of goods	
Telefon Phone		Fax	

Mängel sind sofort zu melden Claims have to be reported immediately.

Äußere Mängel an der Verpackung Defects of packaging from the outside	Ja Yes	☐ (bitte Foto beifügen) (please enclose a photo)	Nein No	☐
Wenn „Ja“ Beschreibung If „yes“ describe				

Schadensmitteilungen an Transporteur Information to transport company	Ja Yes	☐	Nein No	☐
--	-----------	--------------------------	------------	--------------------------

Äußere Mängel an der Mühle Defects of the grinder from the outside

Gehäuse Housing	☐	Oberteil Upper part	☐	Unterteil Lower part	☐	Deckel Lid	☐	Grundplatte Ground plate	☐	Rüttelblech Vibrating sheet	☐
Sonstiges Others											

Funktionsprüfung Operational Test

Mühle läuft nicht an Grinder does not start	☐	Mühle läuft unter Last nicht an Grinder does not start under load	☐	Sicherung Mühle geprüft Fuse inspected	☐
Steckdosenanschluss geprüft Plug connection inspected	☐	Trichter ist nicht verstopft Hopper is not blocked	☐	Sicherung Gebäude geprüft Building fuse inspected	☐
Motor funktioniert, mahlt aber nicht Motor is running, but does not grind	☐	Bei 3 Phasen Mühlen Drehrichtung kontrolliert Direction of rotation inspected (only for 3 phase grinders) under load	☐		
Schalter bis zur Einrastung betätigt Switch locked	☐	Mühle ist zu laut Grinder is too noisy	☐	Mühle mahlt zu grob Grinder grinds too coarse	☐

Display Display

Fehlermeldung im Display Alarm message in the display	☐	Display ohne Anzeige Display without indication	☐
--	--------------------------	--	--------------------------

Bemerkungen Notes	
----------------------	--

COMPANY OF THE
HEMRO
Bühal Collo Grinding Solutions

Ditting Maschinen AG
Länggenstrasse 34 | CH-8184 Bachenbülach | Switzerland
Tel: +49 44 864 18 00 | Fax: +49 44 864 18 01
info@dittingswiss.ch | www.dittingswiss.ch



COMPANY OF THE HEMRO GROUP



Ditting Maschinen AG
Länggenstrasse 34
CH-8184 Bachenbülach
Switzerland



+41 44 864 18 00



www.dittingswiss.ch